

航海概要

1. 航海情報

航海番号:	YK10-E02
船舶名:	R/V よこすか
航海名:	熊野灘における IODP 掘削の事前調査
首席研究者:	青池 寛 (CDEX, JAMSTEC)
研究代表者:	吾妻高志 (CDEX, JAMSTEC)
航海期間:	2010年10月17日 ~ 2010年10月19日
出港・帰港地:	神戸 (神戸ポートアイランド) – 横須賀 (JAMSTEC 岸壁)
調査海域:	和歌山県新宮市の南東約 70km

2. 航海概要

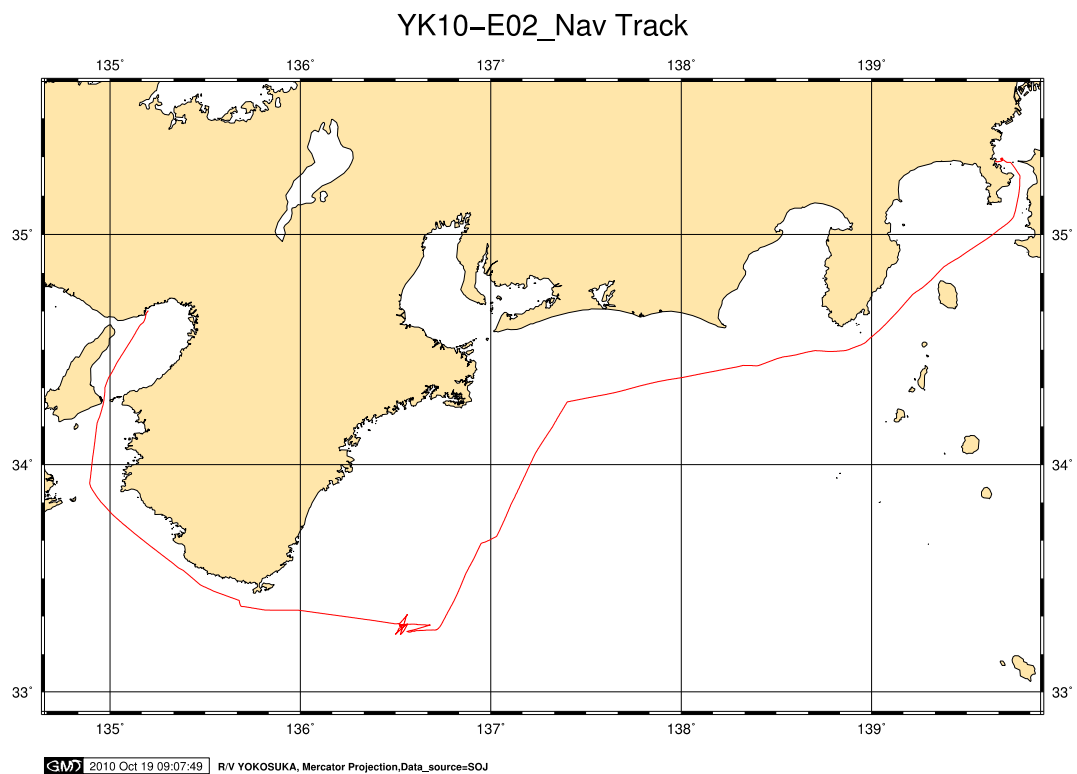
2.1. 航海目的

本航海は 2010 年 6 月に YK10-06 航海において熊野灘海域に設置した 2 系の係留系を回収するために計画された。この係留系は IODP の NanTroSEIZE 計画において南海トラフの地震発生帯を指して掘削される大深度ライザー掘削孔サイト C0002 の近傍での海流変動（基本的に黒潮）を記録するために設置された。取得されたデータは強海流下でのライザー管の挙動を予測するライザー解析に使用される。

2.2. 結果

係留系の回収作業は 2010 年 10 月 18 日に行われ、天候待機や深刻なトラブルもなく成功裏に終了した。係留系設置場所は和歌山県新宮市南東約 70km に位置する。船は神戸ポートアイランドを 10 月 17 日 15:00 に出港し、対象海域に 18 日 04:00 に到着した。06:00 に最初のサイト CM03 (33°17.8651'N, 136°31.4941'E, 1912.0mbsl) に向け移動を再開し、07:00 に回収作業を開始した。サイト CM03 には LR-ADCP の付いた係留系が設置されている。ここでの最初の切り離し信号には第 1 の切り離し装置が所定通り反応せず、係留系が浮上してきていると誤認する状況があった。第 2 の切り離し装置は正しく反応し、係留系は無事回収さ

れた。二つ目の回収作業は BB-ADCP を取り付けた係留系を設置しているサイト CM04 (33°16.0531'N, 136°33.9294'E, 1749.0 mbsl) で行われ、障害無く回収が完了した。船は 14:30 に横須賀に向けて発航し、回航中データ回収が行われたが、残余の作業は着岸後も継続された。船は 10 月 19 日 09:00 に JAMSTEC 横須賀本部岸壁に着岸した。



YK10-E02 の航跡